

ハロートレーニングで
つながる就職！！

公共職業訓練

求職者支援制度

活用事例集

長野労働局

(平成29年3月作成)

活用事例①

求職者支援訓練（基礎コース）

女性 希望職種：販売・接客
直近の雇用形態： 営業パート 1年2か月 販売営業パート 1年
接客・販売パート 3年

① 背景

- ・高校を中退し、夜の飲食またはパートで飛び込み営業をしながら年数が経過。販売、接客の仕事は苦ではないが、売上傳票一つにしてもパソコンが全くできないため、指示された仕事以外はできず、自信を持って仕事ができない状況であった。

② 支援内容・経過

- ・訓練受講により今までの経験職より、パソコンの資格を取得することで事務的職業に興味を持てると判断。
- ・訓練開始後、形式的な授業についていけるか心配であったが、就職意欲はかなり高く、まじめに受講。
- ・訓練開始1か月から求人提供、2か月目から積極的な応募を繰り返すが、事務経験がないことから不採用が続く。
- ・経験を問われるのであれば派遣での就労を経て正社員を目指す方向性も考え登録し応募していく。
- ・模擬面接等の支援をし、就職支援に真剣に取り組むことにより面接官より好評価を得た。

③ 結果

事務職（派遣社員）

活用事例一②

求職者支援訓練（基礎コース）

女性 希望職種：一般事務職
直近の雇用形態：事務派遣 3か月
医療事務正社員 14年 経理事務正社員 通算10年

① 背景

- ・3年前に基礎PC訓練受講歴あり。体調不良により未就職のまま終了となっていた。
- ・その後派遣等で短期就労はあったものの、再就職を目指し再度PC訓練を希望される。
- ・自信を喪失しており、再就職のため自信をつけたいこともあり訓練受講を希望。

② 支援内容・経過

- ・受講した訓練施設では職業能力基礎講習やジョブ・カードによる自己理解支援に力を入れていた。
- ・経験と資格のある経理事務、正社員求人を希望するもブランクもあり、また本人が求人応募を始めた時期が訓練終了1か月前であったが、訓練施設からの強い勧めもあり応募の意思を固める。
- ・訓練校で作成したジョブ・カードを活用し、応募書類作成支援を行う。
- ・訓練終了を待たずに早期に正社員で採用に至る。

③ 結果

事務職（正社員）

活用事例一③

求職者支援訓練（基礎コース）

女性
希望職種：一般事務職（正社員）
直近の雇用形態：精密機械加工・検査正社員 10か月
食品製造正社員

① 背景

- 母親の勧めで事務職を希望。
- 職種へのこだわりは母親のほうが強く、本人は休日、場所への希望が強い。
- 年齢も若く多くの可能性もあるが親子共に仕事理解・自己理解不足。基礎学力不足も深刻な状況。

② 支援内容・経過

- 自己理解不足は訓練校でのキャリアコンサルタントである程度解消された。
- 応募するしないに関わらず採用担当者が求める人材を来所日毎一緒に考え、仕事理解を深める。
- 自己肯定感が高く、客観的視点を意識させるよう支援。
- 基礎的学力不足を補うため常に勉強するよう促す。
- 母親の事務職希望が強く、どうしても事務職は譲れず。コールセンターや派遣、事務補助求人を提供。

③ 結果

事務職（派遣社員）

活用事例④

民間活用委託訓練（事務系） 求職者支援訓練（基礎コース）

男性 希望職種：製造業
直近の雇用形態： なし

① 背景

- ひきこもり・メンタルの不調があり大学を中退。
- 体力に自信がなく、精神的負担からフルタイム勤務は厳しい状況。
- 就業経験不足により仕事理解不足。
- 本人より母親の正社員就職の希望が強い。

② 支援内容・経過

- 早期就職を希望していたが、体調面や仕事の知識・経験が乏しいことからスキルを身に付けて少しでも就職に繋がるよう訓練受講に至る。
- すぐに就職することは精神的負担も大きいことから、訓練受講により日常生活サイクルを確立させる。
- 母親の希望が強く、正社員に拘り応募を繰り返すも不採用が続く。親の期待と本人の希望を埋めることに尽力する。
- 本人の希望により訓練の連続受講に至り、修了する。体調を考慮し、フルタイム勤務は厳しいと思われたが応募を続ける。
- 大学が機械科であったこと、細かい作業や黙々と打ち込むことが好きなことから製造職でも検査、組立の仕事に切替、応募数社目で正社員内定に至る。

③ 結果

製造業（正社員）

活用事例⑤

求職者支援訓練（基礎コース）

女性
希望職種：事務職
直近の雇用形態：接客パート 1年2か月

① 背景

- アルバイト勤務をしていたが、正社員に就きたいと離職。
- 仕事理解不足・自己理解不足があり、方向性が掴めない。
- 経験・資格の不足。
- VPIと適性検査の結果も踏まえ、凶面を扱わない製造希望であったが、PCスキルに不安があり受講に至る。

② 支援内容・経過

- 正社員になりたい意欲を持ち訓練受講。まじめで理解度も高い。訓練は順調に推移するも地元での事務職求人が少なく、訓練終了後も正社員就職に対する不安を抱えていた。
- 希望求人があれば訓練の途中でも応募しようと共有。社会人としての基礎知識、コミュニケーションの重要性、段取りや問題解決等の能力向上を促す。
- 訓練受講中は資格取得をしながら強みを増やしていくよう目標を定めて支援。
- 希望求人事業所への見学を実施。応募の意欲を高め、不安を払しょくしつつ背中を押し応募。採用に至る。

③ 結果

事務職

活用事例一⑥

民間活用委託訓練（医療事務系）

女性
希望職種：未定
直近の雇用形態：販売員アルバイト 1年2か月
販売員正社員 6年

① 背景

- 職種未定で求職活動が始まり、相談窓口で近隣の求人や就職状況を把握。
- 資格取得をして専門性の高い安定した医療事務職に就きたいと訓練受講に積極的になる。
- 希望職種への仕事理解が不足。
- 医療事務職に就職するには資格取得が必要であることから訓練受講に至る。

② 支援内容・経過

- 訓練受講中盤で病院での就職（医療事務）は自身のイメージと異なるため、歯科事務や経験のある販売職を希望するようになる。しかし、販売職は親が反対していることもあり、希望職種が定まらず、求職活動が停滞。
- 調剤薬局事務も候補になり得ることを伝えるなど、本人の求職条件の聞き取りや、近隣の求人状況を説明する支援を実施。
- 訓練終盤からは自宅から近い事業所の一般事務に応募し、就職するも、労働条件等合わずに離職。
- 訓練内容を活かした職に就きたい希望があり、介護事務を検討。正社員として採用に至る。

③ 結果

介護事務職（正社員）

活用事例一⑦

求職者支援訓練（実践コース／営業・販売・事務分野）

女性
希望職種：事務職
直近の雇用形態： 介護職正社員 1年

① 背景

- 短大在学中から就職活動を開始。当所お菓子作りに関連した就職を希望されていたが、手のアレルギーにより断念。
- 穏やかで温厚な性格から介護職へ就職するも手荒れがひどく離職。
- 短大で簿記・パソコンの授業を受けたが、すっかり忘れている状況。
- 事務職への方向転換をすることになるが、適職になるか不安を抱えながら訓練受講に至る。

② 支援内容・経過

- 適性検査の結果と以前から可能性を感じていた事務職就職へ方向転換となる。
- パソコンスキル向上の必要性があり、訓練受講に至る。
- 訓練受講中は履歴書添削指導・模擬面接の実施等の支援や職業相談を重ねることにより、訓練受講前より自信を持ち、前向きに変化が感じられた。
- 訓練受講により不安を払しょくし、事務職への就職に至る。

③ 結果

事務職

活用事例一⑧

求職者支援訓練（実践コース／介護分野）

男性 希望職種：介護職
直近の雇用形態： プレス工契約社員 10か月
警備契約社員 1年6か月 プレス工38年7か月

① 背景

- プレス工の経験は長いですが、事業主都合退職が続いたことや自身の年齢面より製造業は希望せず。
- 家族の面倒を見る必要があり、夜勤のない仕事を希望。
- 自動車運転免許なし。
- PC操作不可。
- 求人数が多く、高齢者でも活躍できる職種として介護職を希望。訓練受講により資格取得を目指す。

② 支援内容・経過

- 訓練受講により、資格取得。
- 応募書類作成・模擬面接等の支援を行う。
- 訓練終了後3か月以内の就職はかなわなかったが、就職意欲喚起のため、親身になって支援を行う。
- 日勤の介護職へのこだわりが強く、不調が続く。本人の希望を尊重しつつ、改めて職種拡大や条件緩和を提案。訓練受講中に習得したベッドメイク等を活かせるホテル客室清掃業務採用に至る。

③ 結果

ホテル客室清掃業務

活用事例一⑨

求職者支援訓練（実践コース／医療事務分野）

女性
希望職種：事務職
直近の雇用形態：接客サービスアルバイト 8年
事務 5年

① 背景

- ・家事・育児のため離職後就業なし。長期ブランクがあり、不安あり。家族の仕事に対する理解不足、協力的とは言えない状況。現実的に就業可能かどうか確認するためにも訓練受講を勧める。
- ・訓練受講はスキル・資格取得をして自信を持つと共に、対象者が昼間外出することに、家族が慣れることも有効であると思われた。自身の体力面や子供の状況をみるためにも訓練期間は重要と考え、家族の理解も得て訓練受講に至る。

② 支援内容・経過

- ・訓練に毎日朝から夕方まで通学することにより就業可能時間が広がり、休日の条件緩和まで可能となる。
- ・訓練受講時間程度であれば、家庭に支障がないことがわかり、家族の理解が得られたことも大きい。
- ・訓練中は精神面の支援をメインとし、がんばっていることを評価。
- ・資格を取得し、家事育児、訓練と両立できたことも大きな自信となり、表情も明るく、声も大きくなった。
- ・無理のないパートの医療事務職就職に至る。

③ 結果

医療事務職（パート）

活用事例⑩

求職者支援訓練（実践コース／営業・販売・事務分野）

女性
希望職種：事務、接客・販売
直近の雇用形態：製造（検査）正社員 4年4か月

① 背景

- 経験職種が製造業のみであり、再就職にあたり、パソコン操作が全くできない旨の申し出あり。
- 事務職のみならず販売職でも一定のパソコン操作技能は必須条件となることから、就職活動の進め方の一つとして職業訓練による技能習得を提案。
- 自身でも求人票を検索する中で技能習得の必要性を感じ、訓練説明会にも参加し、受講に至る。

② 支援内容・経過

- 訓練当初は、経験不問事務求人が少ないため製造業への復帰も考え、検査求人へ応募するが不調に終わる。
- このことで落胆大きく、就職活動に消極的になるも訓練受講が進み、徐々にパソコン操作が堪能になることで自信を取り戻し、引き続き相談や紹介の支援を継続することで事務職への応募を前向きに考えられるようになる。
- 訓練終了後はPC資格取得し、当初から希望していた一般事務職への就職に至る。

③ 結果

一般事務職